

平成26年度播磨町の教育

播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の教育方針をお知らせします。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545

播磨中学校



校訓「明朗・自治・創造」

教育目標

人間尊重の精神を基盤に知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する。

- 特別支援教育の充実とその知見と手立ての共有化
- 人間的なふれあいに基づく生徒指導
- 安全・安心の学校づくり

経営方針

- 全職員が全生徒と深く関わり合う（生徒のいるところに教師あり）
 - 「ことば」を大切にしたい指導を行う（厳にして滋のある指導）
 - 教師も自分を語り、生徒と共に学んでいく教師を目指す（進化できる教師）
 - 生徒と共に、グローバルな視点に立った「生き方」を考える
 - 心が和み、花と緑あふれる優しさのある学校づくりに努める
 - 家庭・地域との連携を密にする（ホームページの充実）
- ※今年度も引き続き、石巻市の教育委員会へ紙パック回収の収益を義援金として送ることになりました。昨年度は、お陰様で1126.9kg、22,538円の義援金を送ることができました。本年度も一枚でも多く回収したいと思っておりますので、引き続き、地域の皆さまにご協力をお願いいたします。

努力目標 「基本的な学習・生活習慣の定着と育成」

- ① 人ひとりを大切にする授業づくり
- ② 自分たちで支える学級づくり
- ③ 「あいさつ」からはじめる温かい人間関係づくり
- ④ 命の大切さを実感させる教育の実践

重点課題

- わかる授業づくり（授業の基礎・基本の徹底と授業改善）
- 道徳・学級活動の充実（道徳実践力の育成と生徒会活動の活性化）
- いじめ防止と早期発見、早期対応に努める
- 不登校対策
- 開かれた学校づくりの推進



播磨南中学校



はばたけ南っ子 目指せ

『あ（あいさつをしよう）
ひ（ひとの話を聞こう）
る（ルールを守ろう）』

本年度の努力目標

「あいさつの励行」「授業の充実」「個が活きる学級づくり」

重点課題

1. 学習指導
 - 基礎・基本の定着
 - 個に応じた教育の推進
 - 情報教育の推進
 - 指導と評価の一体化
2. 道徳・学活
 - 生命尊重と自己実現を図る教育の推進
 - 規範意識の醸成と道徳実践力の育成
 - 体験活動とキャリア教育の充実
 - 学級会・委員会・生徒会活動の活性化
3. 生徒指導
 - 生徒理解と問題行動などの解消
 - いじめを許さない土壌づくり
 - 家庭・地域・関係機関との連携強化
 - 防犯・防災教育の充実



4. 特別支援教育

- インクルーシブ教育の啓発
- コーディネーターを中心としたシステムづくり
- 生徒理解と学習指導の工夫
- 通級指導の充実

5. 不登校対策

- 不適応生徒への支援
- 不登校担当、スクールカウンセラー、スクールアシスタントを中心としたシステムづくり
- 相互理解できる温かい集団づくり
- 町適応指導教室（ふれあいルーム）など、関係機関との連携

6. 開かれた学校づくり

- あいさつ運動の展開
- 通信やホームページなどによる情報発信
- ボランティア活動の推進
- オープンスクールや講演会などの開催

7. 教職員の資質向上と業務改善

- 研修体制の確立と教師間オープンスクールの実施
 - 防災リテラシーや応急処置能力の向上
 - 情報教育に関する実践的指導力の習得
 - ICT化や定時退勤日の設定などによる業務改善
- ※地域の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。
ホームページ <http://www.harinanj.ed.jp/>

6月の保健行事

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2611

すくすく健康づくり

（注）7:00現在に警報が発令されている場合などは中止になります。

内容	日時(受付時間)▶場所	対象者	備考(*は持参するもの)
乳児健康診査	18日(水) 13:00~13:20 ▶福祉会館	平成26年 2月生まれの乳児	*母子健康手帳 *通知書(問診票)
10カ月児健康診査	平成26年7月末日まで 時間は各医療機関による(要予約) ▶播磨町・稲美町・加古川市内の 小児科(指定医療機関)	平成25年 8月生まれの乳児	*母子健康手帳 *健診受診票 *健康保険証 *乳児医療受給者証
3歳児健康診査	13日(金) 13:00~13:30 ▶福祉会館	平成23年 3月生まれの幼児	*母子健康手帳 *通知書(問診票) *早朝尿(5cc)
内容	日時(実施時間)▶場所	対象者	備考(*は持参するもの)
両親学級	11日(水) 10:00~11:30 ▶北部子育て支援センター	出産予定のご夫婦	*母子健康手帳 *妊娠中の栄養、子育て体験、先輩ママとの参加者の交流

いきいき健康づくり

※年齢は平成27年3月31日時点

内容	日時(受付時間)▶場所	対象者	費用	申込み			
歯周疾患検診	通年(平成27年2月末日まで) 時間は各協力医療機関による ▶播磨町・稲美町・加古川市・ 高砂市内の協力医療機関	今年度40歳・50歳・ 60歳・70歳の町民 ※対象者には個別に 通知しています。	無料	協力医療機関に 電話で予約のう え、受診してく ださい。			
内容	日時(受付時間)▶場所	対象者	費用	申込み			
がん検診 肝炎ウイルス検診 基本健診	6日(金)、9日(月)、 12日(木)、17日(火)、 21日(土)、26日(木)、 30日(月)	18歳以上の町民 (ただし ・乳がん検診 40歳以上 ・肝炎ウイルス検診 40歳以上 ・基本健診 30~39歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・肺がん(結核) 700円★ ・胃がん 1,400円★ ・大腸がん 1,000円★ ・子宮がん 1,200円★ ・骨粗しょう症 500円 ・乳がん 3,300円 ・肝炎ウイルス(B型・C型) 1,000円 ・基本健診 1,000円 ★印は、65歳以上は無料です。 ※乳がん・子宮がん検診は、2年に 1度の検診です。	加古川総合保健 センター ☎079(429) 2923			
					特定健診	40歳以上75歳以下 の播磨町国民健康保 険加入者 (4月1日~健診日 まで資格のある人)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診 無料 ※特定健診受診票、国民健康保 険加入者 (4月1日~健診日 まで資格のある人)
					後期高齢者 健診	後期高齢者医療保 険加入者	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健診 無料 ※後期高齢者医療被保険者証と介 護保険被保険者証(該当者のみ) を持参してください。
子宮がん個別 検診	通年(平成27年2月末日まで) 時間は各協力医療機関による ▶加古川市・稲美町の協力医 療機関(9医療機関)	18歳以上の町民 ※平成25年度に受診 された方は、受診 できません。	子宮頸部がん 1,500円	加古川総合保健 センター(受診 券を郵送します) ☎079(429) 2923			

検診料金の減免について ①生活保護世帯 ②町県民税非課税世帯 の方は、加古川総合保健センターに申し込み後、
印鑑(朱肉を使うもの)を持参のうえ、すこやか環境グループにお越しください。

内容	日時▶場所	対象者	備考(*は持参するもの)
健康相談 栄養相談	17日(火) 13:30~15:30(受付時間) ▶福祉会館	一般住民	保健師、栄養士が個別に相談に応じます。(予約制) *健診結果、食事記録
糖尿病相談	12日(木) 13:30~15:30(受付時間) ▶福祉会館	一般住民	糖尿病療養指導士・保健師が個別に相談に応じます。 (予約制) *健診結果、食事記録

6月の保健相談

※電話予約制です。お申し込みは各課まで。
▶場所 加古川健康福祉事務所

こころのケア相談

▶日時 9日(月)、23日(月)
13:00~14:00
▶申込み 地域保健課 ☎079(422)0003

酒害相談

▶日時 9日(月) 13:00~14:00
▶申込み 地域保健課 ☎079(422)0003

エイズ・肝炎ウイルス検査相談

※原則として匿名で無料実施します。
▶日時 11日(水)、25日(水)
9:10~10:20
▶申込み 健康管理課 ☎079(422)0002

専門栄養相談

▶日時 18日(水) 9:30~11:30
▶申込み 健康管理課 ☎079(422)0002

加古川夜間急病センター ☎079(431)8051 (年中無休) 診療時間/【内科】21:00~翌朝6:00、【小児科】21:00~0:00
加古川歯科保健センター ☎079(431)6060 診療日/日・祝日 診療時間/9:00~11:30、13:00~16:00
※いずれも急患を受け付けしますので、不急の方はご遠慮ください。

播磨西小学校



**夢かがやき
ともに学びをきりひろく
心豊かな西っ子の育成
真の「生きる力」をめざして**



東日本大震災が投げかけた教育課題はあまりにも大きなものです。我々はそれを真摯に受け止め、21世紀を担う児童が、夢と希望を持って生き抜いていける真の「生きる力」をはぐくんでいかなければなりません。

実践目標及びめざす児童の姿は、昨年度までと同じく次のように設定しました。

実践目標

- 1.基礎・基本を大切にされた確かな学力（知）
- 2.命を大切に、友だちや仲間を思いやれる豊かな心（徳）
- 3.困難にくじげないたくましい健康な体（体）

今年度は70人の新入生を迎え353人でのスタートとなりました。入学式や始業式で、3つがんばってほしいこととお話しました。

- あいさつをしよう
- 人のいやがることをせず仲良くしよう
- 人の話をしっかり聞こう

今年度も保護者の皆さま、地域の皆さまの深いご理解と温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

播磨南小学校



**「夢」と「希望」を持ち、
社会的自立を目指して学び合う南っ子の育成**

本校の校訓「やりぬく心」は、「げんき」「こんき」「やるき」「ゆうき」の4つの「気（木）」を持ち、社会的自立を目指して、変化の激しい社会を生き抜く子どもに育てたいという思いを表しています。その4つの気の原動力になるのが「夢」と「希望」です。

本校では、目指す子ども像を次のように設定し、子ども一人ひとりへの合理的配慮を実践するため、これまで培ってきた全職員の知恵と勇氣と温かな思いやりを傾注し、教育の質的向上と内容の充実を図る取り組みに全力をあげます。

目指す子ども像

人格の尊重	生命を大切に、自他の人格や個性を尊重し合う子ども
正しい判断力	勇気を持ち、適切に判断し、チャレンジすることを恐れない子ども
強い心と身体	ねばりつよく、くじげない心と健康で強い体をもつ子ども
感受性と表現力	豊かに感じる心をもち、表現できる子ども
信頼と共働	互いを信頼し、共に助け合い磨き合う子ども
自立と創造	社会的自立を目指し、自己の能力や創造性を伸ばす子ども
社会への貢献	地域を愛し、社会に積極的に奉仕する子ども

子どもが生き生きと活動できるよう、学校・家庭・地域がそれぞれの得意なことや魅力を存分に発揮したいですね。本年も保護者や地域の皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



播磨小学校



播磨小学校は、本年度開校142周年を迎える歴史と伝統のある学校です。

心のふるさと「播磨小」シンボルは、運動場の大木「クスノキ」です。「こんな学校にします！」播磨小学校長・石井 勝彦

1 モットー→「スタ×スマ」Study（スタディ）×Smile（スマイル）

職員一丸となって、子どもたちに勉強する楽しさを伝えます。

笑顔で元気に登校し、みんなと楽しく過ごし、今日も来てよかったと満足して帰る、心和む素敵な播磨小学校にします。

2 力を入れて取り組むこと

- (1)心を鍛える→子ども一人ひとりを大切にします

子どもの自発的・自治的な活動・体験を通して、自分を高める活動・体験を推進します。その中で、約束や決まりを守り、礼儀の大切さを知り、誰に対しても思いやりを持って接することができるようにします。

- (2)学びを鍛える→学力がぐんぐん伸びる学校をつくります

意欲を持って、分かる・できる・楽しい授業を実践し、学習マナーや習慣を定着させ、確かな学力（習得・活用・探求する力）の向上を図ります。

- (3)体を鍛える→丈夫な体をつくります

休み時間の外遊びをすすめ、元気に遊ぶ子どもの育成に努めます。教師は、子どもと一緒に外遊びする時間を大切にします。また、地域などのスポーツ大会・各種行事への参加を積極的に勧めます。

- (4)食育を推進します→よく食べ、よく動き、よく寝て、健康な子どもになろう

楽しくおいしい学校給食を通して、食事の大切さやバランス良く食べる習慣を身につかせます。家庭の協力を得て、朝・昼・夕の食事をしっかり取る子どもの育成に努めます。

蓮池小学校



**未来を拓く子どもたちの
豊かな人間力の育成**

本校では、上記教育目標を基に、今、「豊かな人間力」を育むには何を指すべきなのかを視点に置きながら、本年度の教育指針を次のように策定いたしました。

21世紀を生きる子どもたちが未来を切り拓くための基礎となる学力を身につけさせ、発展的に思考力・判断力・表現力を培い、主体的・創造的に課題に立ち向かい、よりよく判断し、実践できる心豊かな子を育成する。

この教育指針のもと、私たちが子どもたちに身につけたいのは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの力に支えられた「生きる力」です。本年度はこうした教育目標・教育指針に従い、次の重点的な取り組みを実施いたします。

「説明する理数教育」の推進と伸ばしたい力

高度な科学技術の恩恵を受け、さらに発展日常化するであろう科学技術時代の未来を生きる子どもたちのために、その基盤となる理数教育を推進することは、必須のことと言わねばなりません。本校ではこの理数教育を核としながら、子どもたちのコミュニケーション能力を高めるために、授業の生で自分の言葉で自分の考えを話し、それを受容的に聞くことのできる子どもたちを目指しています。それは学力向上と共に、心の教育でもあると言ってよいと考えます。

以上のような教育方針に立ち、ご家庭と共に本年度の本校教育を推進していきたいと存じます。皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。





であう・つながる・育ち合う
—いろいろな人とかかわりを通して みんなで育ち合えるような園に—

本園の教育目標

「生きる力の基礎をはぐくむ」
～幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で～

実をはかり、保護者の方も一緒にみんなで育ち合えるよう取り組んでいきたいと思ひます。

努力目標

- 心がときめききような体験を通して豊かな感性や表現力を育てる
- たくさんの人とかかわる中で、コミュニケーション力をはぐくんでいく
- 個々の発達や3年間の発達を見通してきめ細やかな指導と環境を整える
- 安全面に配慮し、自分で自分の身を守れるような生きる力をつけていく
- 家庭や地域との連携を深め、小学校との円滑な接続を図る



本年度の取り組み

今年度、播磨幼稚園は、全園児208人3学年8クラスという、にぎやかで、元気いっぱいのスタートをきりました。昨年度“毎日わくわくドキドキするような心のときめきを”をキーワードにそして、何事もプラス思考をモットーに取り組んできました。今年度はたくさん子どもたちそしてたくさんの保護者の方、今までよりもきつとたくさんのお会いがあるでしょう。

また、県下でも珍しい公立幼稚園の3年保育という良さを生かして年少、年中、年長の子どもたちが学年を超えてたくさんのかかわりができる環境をつくっていききたいと思ひます。

チャンスを逃さない投げかけをしながら遊びの充



遊びを通して、
互いのよさを感じながら
育ち合う子どもたち

教育目標

「生きる力の基礎をはぐくむ」—幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中でこころ豊かに学び、いきいきと遊ぶ子ども

目指す幼児像

努力目標

- 幼児一人ひとりの発達や学びを踏まえ、保育内容の充実を図る
- 一人ひとりの子どものよさ（持ち味）を把握し、それを活かせる機会を保障する
- 様々な人とかかわる機会をつくり、自己表現の場を広げる
- 体を動かすいろいろな遊び（コオーディネーショントレーニングを含む）を通して、健康な体と心の育成、安全安心の教育の充実に努める
- 幼児期の道徳性の芽生えを培い、支援する
- 幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を工夫する
- 保育園・子育て支援センターとの交流を深め、互いの保育理解と教育の充実に努める
- 教師としての専門性を磨き、保護者や地域と連携しながら指導の充実に努める



いきいきと自分らしさを発揮する子どもたち
～はなそう きこう つながるころ～



本園の教育目標

生き生きとかがやいている子どもに

目指す幼児像

- 自分の思いや考えを心豊かに表現する子ども
- 健やかで たくましく けじめのある子ども

本年度の取り組み

- 幼児がいきいきと自分らしさを発揮し、友達や教師と関わって遊び生活する中で、様々な気持ちに気付いていくよう援助する
- 支援が必要な幼児については特に教師間の共通

理解が必要であるので、支援の教師と担任を中心に定期的に記録を全職員で検討し、援助の方向を確認しあう。

- 地域のシニアクラブの方々や園庭解放の際にふれ合う保護者や祖父母との関わりを大切に集団の中で自己発揮できるように援助していく

努力目標

- 挨拶をはじめ基本的な生活習慣の確立と食育、健康教育の充実に努める
- 様々な自然体験や人との関わりの中で、発達に即した豊かな人権感覚を育てる
- 幼稚園・家庭・地域との連携を密にし、開かれた園づくりに努める
- 幼稚園教育と小学校教育との連携を強め、育ちの一貫性を見極めた保育の実践に努める

家庭教育コラム11
かがやく未来のために
—家庭でできること—

＜家庭教育の基礎は、子どもとしっかり向き合うことから＞

ポイント⑥（その2）
【生活リズムをきちんと作る】
生活習慣を身につけよう！
●テレビやゲームは、時間を決めて！
テレビやゲーム・スマートフォンなどには、子どもたちが夢中になりがちです。でも、のめり込みすぎると、次のような影響を与える恐れがあります。

- 1 身体をめぐりっぱい使ってこその得られる達成感を味わう体験機会を、のがしてしまいがち
- 2 デジタルの遊びばかりでは、人が本来持つ豊かな感性が磨かれにくくなる
- 3 便利なものを先に覚えてしまつと、不便の中にある喜びや手応えを味わうことができにくくなる

親子で話し合い、家庭でルールを決めましょう。決めたルールを守る事が大切です。

よく学び よく育つ
ふれあいルーム 青田弘彦

「感謝の気持ち」

ある高校の校長先生のお話を聞く機会がありました。校長先生が昼食時に校内を見回ったそうです。どうも変だ、生徒たちが「いただきます」を言わないで、いきなり食べている。「感謝の気持ち」が表れていない、とおっしゃっていました。

似たような話がありました。小学校の2年生でトマトを育てる授業がありました。ゲストティーチャーとして地元農家の方をお願いしました。栽培についての的確な指導とともに、「感謝の気持ち」についてもしっかりとお話をしていただきました。「皆さんが食べるトマトは、本当は地面に落ちて次のトマトが育つためのものです。それを皆さんが食べているわけです。」

私たちが生きていけるのは確かに他の生き物の命をいただいているからで「いただきます」と言うのは、「今から、あなたの命をいただきます」と言う意味ではないでしょうか。

食べ物に限らず物が豊かで、何でも簡単に手に入る時代です。物が豊かになると心が貧しくなるとも言われています。校内の落とし物コーナーでは、いつまでも落とし主が来ないでかわいそうなものがあります。物を大切にするというのは、それを育てた人たちは、製造した人たちの気持ちを大切にすることもあると思ひます。最後までしっかりと食べる、最後までしっかりと使う、大切に使うなどの態度を養いたいものです。